



2007年度 第20回 JIA建築市民講座

地球と一緒に暮らそう

2008.2.9sat

13:00~13:30 開場・受付

13:35~15:00 環境建築賞受賞作品を語る

15:10~16:30 パネルディスカッション「地球と一緒に暮らそう」

16:30~16:50 質疑応答

◆会場 Tioビル2F 徳島市東船場町1丁目13

西側は有形文化財にも登録されている昭和初期建築、
新町川ボードウォーク側はモダンな現代建築と、ふたつの顔を持つ建物です。

◆主催 (社)日本建築家協会 四国支部

◆共催 (社)日本建築学会 四国支部

◆入場無料!! (申込不要・先着順)

環境建築賞受賞作品を語る

「亀山双屋」 講師:栗林賢次／栗林賢次建築研究所 <http://www.kuribayashi-ao.com/>

周辺の豊かな緑風や日照を取込む2棟並列配置した住空間

緑風豊かな周辺環境に建つ4人家族の住宅です。エネルギー消費を極力抑えた快適生活の為の工夫を凝らした「住居棟」と、中庭を挟んで音楽室と収納室を持つ低コストに徹した「レッスン棟」で構成されています。「住居棟」は高気密高断熱体で南北側に大きく開いた開口部と24時間熱交換器型換気扇そしてエアコン1台という最小限の設備構成と自然の日射と通風をうまく利用する工夫でインシヤルやランニングコスト抑えた冬暖かく夏は涼しい快適な住空間を実現しています。敷地の高低差を利用し「住居棟」を上段に「レッスン棟」を下段に平行配置して冬場でも「住居棟」への十分な日射を確保し「レッスン棟」と西側擁壁によって「住居棟」への外部からの近距離視線をカットしています。1.82mの基準の柱間寸法と規格寸法カット無のアルミサッシを採用してコストを大幅に抑えています。時々中庭では親しい友人を集めてミニコンサートが行われています。

パネル展

講師の栗林賢次氏と、JIA四国支部徳島地域会会員による建築作品展を、市民講座会場で同時開催します。
こちらも入場無料、当日は終日展示しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。



建築家 栗林賢次

◆略歴

1960年 長崎県生まれ
1984年 福岡大学工学部建築学科卒
1986年 浜野デザイン(～'92)
1992年 栗林賢次建築研究所設立

◆受賞

2007年 日本建築家協会(JIA)環境建築賞

一級建築士国土交通大臣登録 第224494

栗林賢次 一級建築士事務所

大阪府 知事登録 第(ハ)14665号

社団法人日本建築学会会員

社団法人日本建築家協会会員

社団法人大阪府建築士会会員